

【経済危機からの脱却を図る「経済対策」の総動員】

◇我が国GDP成長率(※)は▲12.7%と、先進諸国のなかで最悪。
政策を総動員し、深刻な経済危機から早期脱却を図る。

※2008年10～12月期前期比年率／米国：▲3.8%、イギリス：▲5.9%、ドイツ：8.2%

◇即効性のある需要創出対策

◇中長期的に国際競争力強化に資する対策

【持続可能な社会の構築に資する「環境対策」の推進】

◇とりわけ、「低炭素・循環型社会の形成に向けた対策強化」が重要。

◇産業界は、世界最高水準のエネルギー効率を達成し続けるべく、
研究開発を含め、自主行動計画を中心としたたゆまぬ努力を断行。

◇政府は、産業界の取り組みを後押しすべき。

◆政府は、経済危機からの脱却を図る「経済対策」と、持続可能な社会の構築に資する「環境対策」とが両立する
施策・プロジェクトに対し、予算を集中的に投入するなど、対策強化を図る必要。

— 国家プロジェクトの推進等により、即効性のある需要創出対策、中長期的に国際競争力強化に資する対策を切れ目なく実施 —

経団連提言「日本版ニューデールの推進を求める」重要プロジェクト事例(抜粋)[2009年2月9日]

(1) エネルギー需要サイドの革新

- ①一定の基準を満たす省エネ・新エネ機器等の家庭部門への普及促進
：とりわけ家電・自動車・住宅は早期に対応すべき
：その他家庭用太陽光パネルの支援策の拡充
- ②ヒートポンプ・定置式燃料電池の大規模普及
- ③運輸部門のグリーン化
：電気自動車・プラグインハイブリッド自動車普及促進プロジェクト
：燃料電池自動車・水素供給インフラ整備普及プロジェクト

(2) エネルギー供給サイドの革新

- ①未利用資源等の開発・有効利用
：メタンハイドレート開発プロジェクト
：食料・飼料と競合しないバイオマス資源の総合利活用
：低品位炭・バイオマス・廃プラ等の未利用エネルギーの活用技術とCCS技術の確立
：化石資源の高度・有効活用技術の開発・導入
- ②原子力発電の着実な推進

(3) 循環型社会の実現

- ：水資源関連プロジェクト
- ：高度リサイクル型生産技術基盤プロジェクト
- ：PCB廃棄物、とりわけ微量PCB廃棄物の円滑な処理の推進
- ：低炭素・循環型モデル都市プロジェクト